

2020年5月21日

和歌山県教育長 宮崎 泉 様

日本共産党和歌山県議団

団長 奥村 規子

高田 由一

杉山 俊雄

楠本 文郎

学校再開にあたっての申し入れ



このたびの新型コロナウイルス対策については、県民のいのちとくらし、児童、生徒の教育を守るため、ご奮闘いただいておりますことに敬意を表します。

日本共産党県議団は、学校再開にあたっては何よりも児童、生徒の安全・安心、保護者の理解が大切だと考えています。このような立場から以下の点について申し入れるものです。

記

- 1、 本来なら繰り返し保護者説明会を開かねばならないような状況だが、現状では学校と保健所等が連携し、保護者説明会をオンラインで実施して双方向で疑問にこたえるなど、科学的かつ十分に保護者の理解を得られるようにすること。
- 2、 安全・安心な学習環境確保のため、保健所や学校医などの専門家に現場で指導してもらえるようにすること。
- 3、 児童、生徒や教職員、またはその家族が発熱や感染が明らかになった場合の対応マニュアルを整備すること。とくに学校内で疑い者が出た場合、保健室などで一時的に隔離できるように施設を整備すること。
- 4、 学校再開後の教室や校舎の消毒作業については、外部委託とし教職員の負担を軽減すること。
- 5、 学校再開後も保護者の判断で登校を見合わせ場合は、当面は欠席扱いとしないこと。
- 6、 県の学力テストや中3生への英語検定、職場体験学習などは当面、中止すること。
- 7、 コロナ対策のため市町村が必要な人員配置や資材の整備をした場合は、県としても財政支援をすること。国に対しても支援を求めること。

以上